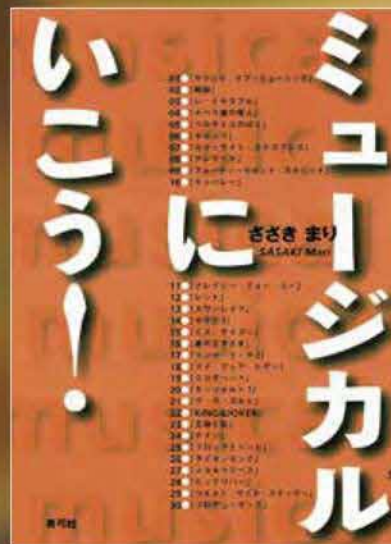


# はじめて演劇を見に行く方は要チェック!



まずはコレ!

著者が「また観たい」演劇30本を紹介。チケットの買い方や、観劇までの準備、劇場での過ごし方なども教えてくれます。

年代順に傑作ミュージカルを解説。知っている作品をより楽しめるトリアを掲載しているため、初心者問わずオススメです。



人気作品の魅力とは

「魅惑のミュージカル鑑賞入門 人気50作品を徹底ガイド」 中島 薫 / 監修 世界文化社

日本発の新たなコンテンツ

アニメ・マンガを原作とする舞台 [2.5次元ミュージカル] で活躍する4人に迫った一冊。



「2.5次元のトップランナーたち」 松田誠、茅野イサム、和田俊輔、佐藤流司 門倉 紫麻 / 著 集英社

図書館名	所在地	電話番号	図書館名	所在地	電話番号
中央	千住 5-13-5	03-5813-3740	新田	新田 2-2-2	03-3912-1767
伊興	伊興 2-4-22	03-3857-8501	竹の塚	竹の塚 2-25-17	03-3859-9966
梅田	梅田 7-13-1	03-3840-4646	東和	東和 3-12-9	03-3628-6203
興本	興野 1-18-38	03-3889-0370	舎人	舎人 1-3-26	03-3857-0771
江南	小台 2-4-18	03-3913-0460	花畑	花畑 4-16-8	03-3850-2601
江北	江北 3-39-4	03-3890-4488	保塚	保塚町 7-16	03-3858-1553
佐野	佐野 2-43-5	03-3628-3275	※1 やよい	中央本町 3-15-1	03-3852-1433
鹿浜	鹿浜 6-8-1	03-3857-6551			

※1 2025年3月まで休館予定

## 私の読書通帳から No.16



「名画で読み解く ハプスブルク家 12の物語」 中野 京子 / 著 光文社

ミュージカルを含め、観劇はとんとご無沙汰で、最後に足を運んだのは「エリザベト」(確か主演は花總まりさん?)だった記憶があります。って、一体いつのこと?

ヨーロッパの美術館を訪ねる貧乏旅行の際、お土産に買った一枚の絵葉書がヴィンター・ハルター作の『エリザベト皇后』(後で調べて分かったのですが、左の表紙がそれ。)でした。髪には星飾り、金の刺繍付きドレスを纏った、類まれな美しい肖像画

の人物が辿った数奇な運命は、本書を読んで初めて知りました。映画「うたかたの恋」の主人公ドルフ皇太子のお母さんでもありますね。

例年12月に実施している「光の祭典」。竹ノ塚東口駅前のツリーのイルミネーションは、実はこの肖像画をイメージしています。

(文 / 足立区長 近藤やよい)



# かわけはし

図書館は本と人とのかけはしです。

2024年1月

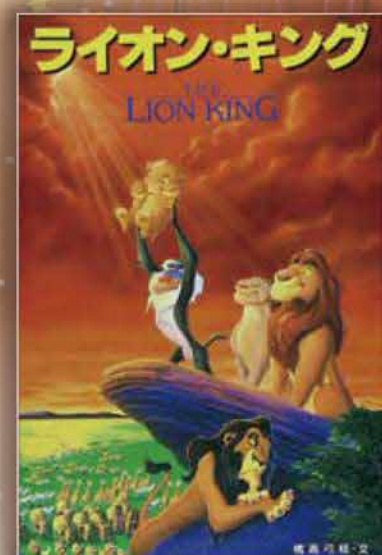
図書館だより

128号

# 演劇・ミュージカル特集



「美女と野獣」 ポーモン夫人 / 作 ビネッテ・シユレーダー / 絵 ささき たつこ / 訳 岩波書店



「ライオン・キング」 橋高 弓枝 / 文 偕成社



「知識ゼロからのミュージカル入門」 堀田 明弘 / 監修 幻冬舎

足立区では、令和4年度から区立小学校の5年生(約5,100人)を対象に、ミュージカルの鑑賞事業がスタートしました。非日常空間を味わうことのできるミュージカルは、ストーリーの面白さだけでなく、歌や踊りも相まってその作品の世界に惹きこまれてしまいます。

今号では、さらに演劇やミュージカルを楽しめるよう、舞台の基となっている作品や、長年上演されている作品を本でご紹介。また、舞台監督や衣装担当など、舞台を支える人たちの仕事にも注目してみました。

鑑賞だけでなく、様々な角度から演劇やミュージカルを楽しんでみませんか。

足立区立中央図書館

足立区千住 5-13-5  
TEL 03-5813-3740

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/bunka/library/index.html>



## ミュージカルになった作品を楽しもう!



「オズの魔法使い」 L.F. ボーム / 原作 岸田 祐子 / 文 堀内 誠一 / 絵 偕成社

大きな竜巻に巻き込まれたドロシーと子犬のトトは、気が付くとオズ王国に飛ばされていました。家に帰るために、かかし、ブリキのきこり、弱虫のライオンを仲間に加えて旅立ちます。



「アラジンと魔法のランプ」 アンドルー・ラング / 再話 エロール・ル・カイン / 絵 中川 千尋 / 訳 ほるぷ出版

ランプをこすると、願いを叶えてくれる魔神が現れました。豪華な食べ物も金のお皿も思うがまま。アラジンは最後にどんなお願いをしますのでしょうか?



「レ・ミゼラブル」 V. ユゴー / 作 三田村 信行 / 文 狩野 富貴子 / 絵 ポプラ社

貧しい生活の中、家族のために1つのパンを盗んだジャンは、19年間投獄されてしまいました。長い投獄をきっかけに、人を恨むようになってしまった彼は、とある出会いをきっかけに変わっていきます。

## 演劇についての知識を深めよう



「読んで演じたくなるゲキの本 小学生版」 清水 晴美 ほか8名 / 著 幻冬舎

子どもたちのために書き下ろされた脚本集です。学年別の内容になっているので、学芸会の演目選びにもオススメです。

「読んで楽しい舞台 & 芸能用語解説集」 パリオプロモーション / 編 ジャパンインターナショナル総合研究所

「リハーサル」「ケータリング」など、日常でもよく耳にする用語から、「影アナ」のような、舞台ならではの専門用語まで幅広く網羅した一冊。たくさん覚えて友だちに自慢しちゃおう!



(※) ...観客から見えない場所で場内アナウンスをする人のこと。



「劇場ってどんなところ?」 フロランス・デュカトール / 文 シャンタル・ベタン / 絵 岡室 美奈子 / 日本語版監修 野坂 悦子 / 訳 西村書店

舞台の役割や用語などを楽しいイラストで教えてくれる絵本です。最後のページでは、本の内容からクイズを出題。全問正解できるかな?



「ミュージカル教室へようこそ! All about 劇団四季レパートリー」 安倍 肇 / 著 日之出出版

劇団四季の230点を超える舞台写真を掲載。さらに、舞台に彩りを添える楽曲が生まれた経緯や、劇中の工夫についての解説も紹介しています。



こんな本もオススメ!

「ライオンキング プロードウェイへの道」 ジュリー・ティモア / 著 藤田 みどり / 訳 日之出出版

映画「ライオン・キング」がミュージカルに生まれ変わる様子を紹介。見聞きの大きな写真やイラストで作品を楽しめます。



「世界で一番美しい劇場」 エクスナレッジ

フランス、イタリア、アメリカなどの世界各国の劇場やコンサートホールが54箇所載っています。行ってみたいと思う劇場が見つかるはず。



## 舞台の世界を写真で楽しもう



「スタジアム・ホール・シネマコンプレックスで働く人たちの現場としくみがわかる!」 山中 伊知郎 / 著 ぺりかん社

スケジュールや設備管理を行うホール管理者や舞台装置スタッフの仕事の様子や一日の流れを紹介。「お客様の特別な一日のために」「ホールを夢の空間にしたい」といった客席からは見えないスタッフの熱い思いを知ることができます。

## 舞台を支えるお仕事を見てみよう



「キャリア教育に生きる! 仕事ファイル センパイに聞く26」 小峰書店編集部 / 編著 小峰書店

100年の歴史をもつ劇団で舞台衣装スタッフとして働く方のお話を掲載。学校での勉強が仕事にどう役に立っているか教えてくれます。

「なりたいたい自分を見つける! 仕事の図鑑13」 <仕事の図鑑> 編集委員会 / 編 あかね書房

脚本家や声優、舞台装置の仕事が紹介されています。仕事を始めたきっかけや実際にどんな道具を使っているかがわかります。

